

教育長日記 (平成29年6月15日)

青い空に浮かぶ 白い雲 121

—全員で取り組むことの大切さ— 東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

アクションを起こさなければ 何も変わらない

「アクションを起こさなければ 何も変わらない」という言葉をこの頃よく聞きます。

人間、やりたくないものについては、脳をフル回転させ、いとも簡単に「やれない理由」を並べ始めます。わが身を振り返っても確かにそのようなところは感じられます。しかし、経営上の課題があつてその課題を解決しなければならぬときに、いつまでもアクションを起こさないようでは、企業も学校も変わらないのです。課題の先送りのその先には、次の新しい課題が待っているのが変化の激しい今の社会です。

各学校の研究報告書を読んでみると、自校の課題を解決するためにどのようなアクションを起こし、解決に近づいたのかが具体的に紹介されています。しかも、報告書の体裁から内容まで他校でも活用できるものが沢山見つかります。よいところは遠慮せず自校でも取り入れ、全員で取り組んでみましょう。それもアクションを起こすということなのです。

市内の学校では、全ての学校が校長のリーダーシップの下で学力向上を目指しています。職員が知恵を絞り指導法の改善に取り組んでいます。そのような中で、職員が一丸となって取り組んだ結果、数年で見事に成果を上げつつある市内の学校の取組をごく一部ですが紹介します。

－ 学力向上を目指した 具体的な実践 －

1 落ち着いた学習環境をつくるために、授業規律の確立を図る。

学校としての「授業規律」を確立することが、授業改善の第一歩と捉え、生活指導の充実を図った。

① ルールの確立「授業における共通指導事項の確認」

生活指導部が中心となり、授業ルールを学校全体で確認、手引を作成して、年度当初に共通指導事項とした。

ア 始業の挨拶と身だしなみを確認する。

・始業時には全員起立、椅子を机にしまわせ、教員は服装の確認、挨拶後呼名、出欠の確認。

イ 室内の整理整頓を確認する。

ウ 出欠の確認をする。

・生徒には3分前着席を習慣化させる。

・空き時間の教員が全教室を巡回し、授業の状況を確認する。

エ 忘れ物をした生徒を指導する。

オ 教師が説明したり板書したりするときは、注目させる。

カ 授業の工夫をする

・東大和市小中一貫教育共通プログラムを徹底する。

i 始業の挨拶 ii ねらいをつかむ iii 自分の考えをもつ iv 友達と学びあう v 全体で高めあう (略)

キ ほめることも、叱ることも分かりやすく伝える。

ク 教師は毅然とした態度で指導する。

・教師と生徒との言葉遣いや接する態度にけじめを意識させる。

・常に全教師と協力して指導することを忘れず、必要な場面は応援を要請する。

ケ 終業の挨拶をしっかりとする。始業時と同様に、チャイムをもって授業を終了する。

コ 職員室では授業のことを大いに話題にする。生徒の学習態度や学習の成果は、教師の指導に対する評価と捉える。